

Instruction Bulletin

取扱説明書

3M™ ダイノック™ フィルム

各種プライマーの選定の目安および特長について

1. 本書について

本書は、3M™ ダイノック™ フィルムの施工で使用する各種プライマー*の特長について説明するものです。

※ 各種プライマー 溶剤系プライマー： EC-1368NT、DP-900N3
水性プライマー： WP-137M、WP-2000

2. 各製品の仕様

	溶剤系プライマー		水性プライマー	
	EC-1368NT	DP-900N3	WP-137M	WP-2000
容量	1L/18L	1L	2L	4L
種類	合成ゴム系	合成樹脂系	合成樹脂系	合成ゴム系
使用法	溶剤 ^{※1} で2~3倍に希釈	原液のまま使用	下地により原液から水で3倍に希釈	水で3~4倍に希釈
参考塗布量 ^{※2}	10~15m ² /L (希釈後)	15~30m ² /L	15~30m ² /L (希釈後)	15~30m ² /L (希釈後)
色	黄褐色	淡黄色透明	青色	青白色
固形分	約25%	約12%	約37%	約48%
粘度	200 mPa・s	4.5 mPa・s	300~1200 mPa・s (23℃)	2400 mPa・s
有効期間	貼り付けラベル使用可能期限まで	未開封の状態でご購入後1年以内	未開封の状態でご購入後6カ月以内	未開封の状態でご購入後1年以内
F☆☆☆☆ 認定番号	MFN-1828	JAIA-011050	JAIA-009690	JAIA-004046

※1 EC-1368NTのうすめ液は次のものを推奨します。

三協化学製 NTX ラッカーシンナー

大伸化学製 NTO プライマー用シンナー (EC-1368NT 専用シンナー)

山一化学工業製 ECO ラッカーシンナー

ロックペイント製 ラッカーシンナーエコST

※2 下地により異なります。

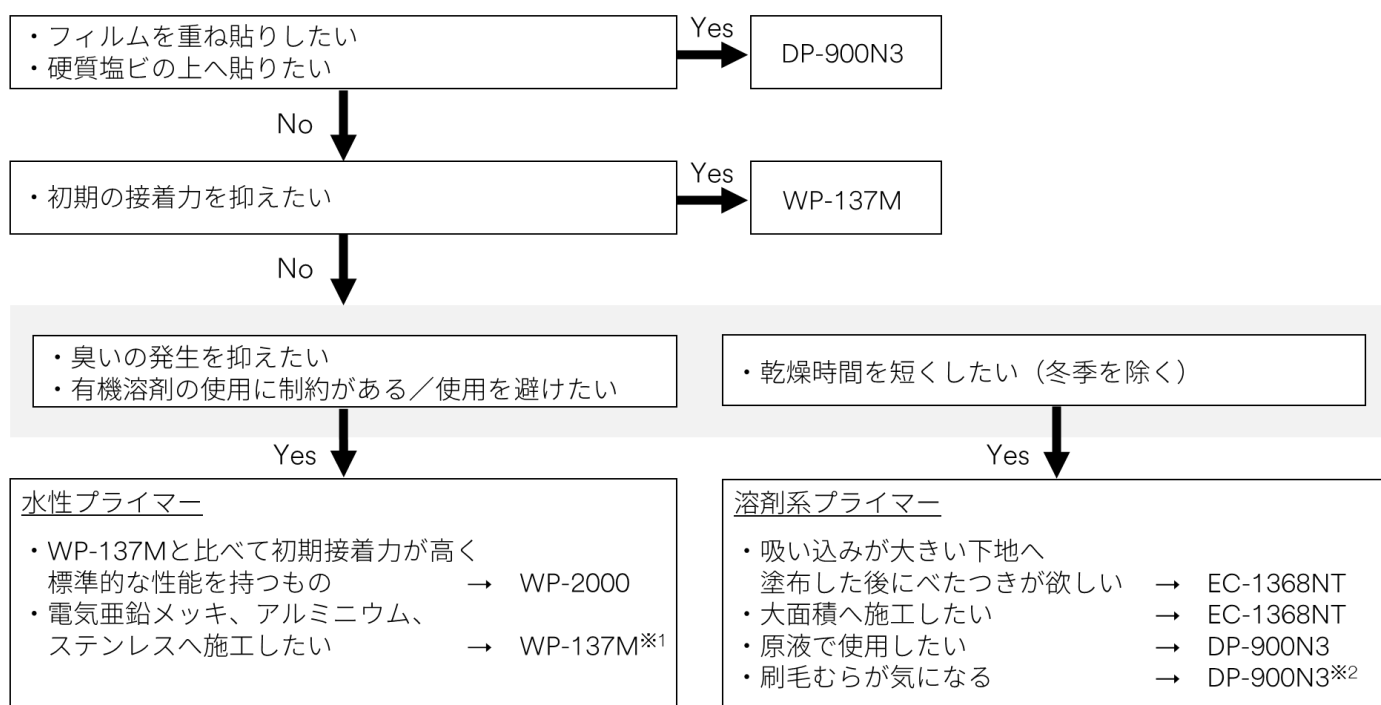
3. 内装施工時のプライマー選定の目安

プライマーの選定は、目安の記載に限定されるものではありません。

- 各プライマーの特長をご理解のうえ、下地基材とプライマーの適正をご確認いただき、ご選定ください。下地によっては使用できるプライマーが限られる場合があります。
- 3M™ ダイノック™ フィルムのシリーズによって、特定のプライマーが推奨される場合もありますので各シリーズの説明書もご確認ください。各シリーズの説明書は当社ウェブサイト（下記 URL）をご確認ください。

URL: go.3M.com/dinoc/product-information

(内装施工時のプライマー選定の目安)



※1 ただし、WP-137Mは初期接着力を抑えているため留意する。

※2 もしくはEC-1368NT使用時に希釈倍率や塗布量に留意する。

4. 特徴について

(溶剤系プライマーと水性プライマーの特長)

- 臭い : 水性プライマーに比べて、溶剤系プライマーでは強い臭いが発生します。ただし、水性プライマーも無臭ではありません。
- 安全性 : 溶剤系プライマーは有機溶剤としての扱いが必要になります。*
※ 詳しくは SDS (Safety Data Sheet、安全データシート) をご確認ください。
- 作業性 : 水性プライマーに比べて、溶剤系プライマーの方が短い時間*で乾燥します。
※ 冬季を除きます。
- 接着性 : 溶剤系プライマーと水性プライマーの接着性は同等です。

(溶剤系プライマー)

	長所	短所
EC-1368NT	<ul style="list-style-type: none">・ 大面積施工時に効果的です。18Lという大容量缶のラインナップがあり、シンナーで希釈して利用するので、大容量の準備が比較的容易です。・ 吸い込みがある下地に効果的です。塗布乾燥後に、表面にべたつきを得られやすいため、塗った感触を得やすくなります。	<ul style="list-style-type: none">・ 刷毛目に注意が必要です。厚塗りになりやすいため、希釈倍率が低い場合に、刷毛むらを生じやすくなります。塗布量や希釈倍率にご留意ください。
DP-900N3	<ul style="list-style-type: none">・ 原液でそのまま使用できます。・ ダイノック™ フィルムの重ね貼り時に使用できます。	<ul style="list-style-type: none">・ EC-1368NT に比べて塗った箇所を判別するのが困難です。

(水性プライマー)

	長所	短所
WP-137M	<ul style="list-style-type: none">・ 初期接着力を抑えており、位置合わせが比較的容易です。石膏ボードへフィルム施工時にダイノック™ フィルムの粘着剤が不意に付いて剥がした場合に、石膏ボード表面の紙の破壊を低減します。・ 塗装されていない、電気亜鉛メッキ鋼板やアルミ、ステンレスへの施工に使用できます。	<ul style="list-style-type: none">・ 施工時の温度環境に特にご留意が必要です。ダイノック™ フィルムは低温環境下で接着力が低下します。WP-137M では初期接着力を押さえているため低温環境下の初期接着力がとても小さくなります。特に出隅等の形状では初期から高い接着力が必要です。出隅で浮いてしまう恐れがありますのでプライマーのご選定時にご留意ください。
WP-2000	<ul style="list-style-type: none">・ WP-137M と比べて初期接着力が高く、標準的な性能を有します。	—

本製品の危険性、有害性及び取り扱いに関する情報は、最新の安全データシート（SDS）をご参照ください。お持ちでない方は、当社または当社特約店までご請求いただくか、スリーエムジャパン株式会社のホームページよりダウンロードしてください（SDS 番号：EC-1368NT;19-8823-7, DP-900N3;32-2520-8, WP-137M; 27-3863-1, WP-2000; 08-5356-4）。http://www.3mcompany.jp/3M/ja_JP/company-jp/SDS-search/

ご採用決定の際には、あらかじめ在庫状況をお問い合わせください。当社製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載する事項、技術資料並びに推奨は、すべて当社が信頼する情報及び試験に基づいていますが、その正確性もしくは完全性についての絶対的な保証をするものではありません。使用者は使用に先立って、自己の使用目的及び用途に当社製品が適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任をすべて負うものとします。当社及び当社製品の製造者の義務は、当社が別途定める条件に基づき、不良であることが証明された製品の交換、もしくは当該製品のご購入代金の返金だけであり、いかなる場合であってもそれ以外の責任は負いません。上記内容と異なる保証並びに本書に記載されていない事項及び推奨は、当社及び当社製品の製造者の権限を有する役員が署名した文書によらない限り、当社は何らの責任も負いません。

3M、ダイノックは、3M 社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社

© 3M 2024. All rights reserved
PC-0323-00
2024/7/8

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで
 **0570-012-123**
9:00～17:00 / 月～金（土日祝年末年始は除く）